

情報公開文書

研究課題名	造血幹細胞移植後の腎障害についての検討
研究体制	<input checked="" type="checkbox"/> 長野赤十字病院が責任研究機関となる <input type="checkbox"/> 他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関： )
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>腎臓内科</u> 氏名 <u>原田 真</u> 当 院 所属 <u>腎臓内科</u> 氏名 <u>原田 真</u>
研究期間	(西暦) 2018年5月～2019年3月
研究の概要	(研究の意義・目的) 造血幹細胞移植は血液腫瘍をはじめとする疾患で非常に重要な治療の一つです。造血幹細胞移植後に急性、慢性経過で腎機能障害や尿検査異常を呈することが報告されています。造血幹細胞移植後の腎障害は患者さんの予後に関わるため早期に介入することが必要であります。しかし、どのような腎障害がどの程度の頻度でどの時期に起こるのか、どのような病変、臨床的症候を呈し、治療反応性がどうかは不明であり、本邦でまとまった研究は一切なされておりません。 本研究では造血幹細胞移植後の腎障害の臨床、病理学的特徴を明らかにすることを目的とします。 (研究方法) 2010年1月1日-2018年4月30日の期間に長野赤十字病院で造血幹細胞移植を施行された患者さん、加えて2010年1月1日-2018年4月30日の期間に長野赤十字病院で造血幹細胞移植後に腎生検を実施された患者さんを対象に腎障害が起こった患者さんと起こっていない患者さんの臨床的特徴、腎障害の病理組織学的特徴を主に記述的に検討します。
試料・情報	(試料・情報の項目) カルテデータより背景、性別、年齢、身長、体重、合併症、既往歴、現病歴、内服薬、原疾患、血液検査、尿検査所見、腎病理組織所見、患者予後
研究対象者	2010年1月1日-2018年4月30日の期間に長野赤十字病院で造血幹細胞移植を施行された20歳以上の患者さんと2010年1月1日-2018年4月30日の期間に長野赤十字病院で造血幹細胞移植後に腎生検を実施された20歳以上の患者さん。 ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした(匿名化といいます)上で使用いたします。国が定めた倫理指針(「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」)に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。

お問い合わせ先	<p data-bbox="480 174 933 353">〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 腎臓内科 氏名 原田 真</p> <p data-bbox="480 416 1173 450">TEL : 026-226-4131 (代表)      FAX : 026-228-8439</p>
---------	---